

各 位

2016年1月18日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 片岡 尚
(コード番号 4343)

2016年2月期 12月度の営業概況

1. 業績の進捗

12月度(2015年12月1日～2015年12月31日)の国内単体の営業収益は44億93百万円、前期比132.1%となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況(国内事業) (単位: %)

	12月度		当期累計(3月度～12月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	140.7	107.5	124.5	100.8
商品売上	108.8	90.9	98.6	86.6
遊戯施設売上計	133.7	103.8	118.3	97.4
売上高合計	132.1	102.8	118.2	97.1

※既存店伸び率は前期に対し平日の月・水曜日が各1日減少し、火・木曜日が各1日増加しておりますが、その影響は0.9%減となり、12月度の既存店売上の趨勢は103.7%となります。また、既存店伸び率に旧ファンフィールドの店舗は反映されておられません。

3. 営業の概況

12月度の売上高前期比伸び率は、遊戯機械売上140.7%、商品売上108.8%となり、既存店伸び率は102.8%となりました。また遊戯機械売上の既存店伸び率は107.5%となり、4ヶ月連続で既存店伸び率は100%を超えました。部門別では、12月に実施いたしました遊戯機械の改廃効果もあり、メダル部門の既存店伸び率は103.0%、体感部門の既存店伸び率は108.0%と堅調に推移しております。また第3四半期より売上が回復基調であります、プライズ部門は大型景品が好調で既存店伸び率は104.6%となりました。

※上記文面で記載の部門別既存店伸び率は、旧ファンフィールド店舗の数値を概算値として反映しております。

4. 国内出退店の状況

今期(2015年3月1日～2015年12月31日)は16店舗を新たに開店し、4店舗を閉店しております。

※2015年12月末の国内直営店舗数: 506店舗

【参考情報: 海外子会社の既存店売上伸び率の状況】 (単位: %)

	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度
中国	99.4	111.7	109.8	88.8	88.1	86.9
マレーシア	107.2	83.9	87.2	83.1	86.4	99.0
タイ	101.4	93.6	99.7	88.3	103.8	93.1
	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度
中国	82.0	84.6	165.2	189.6	—	—
マレーシア	97.8	86.1	96.5	90.4	—	—
タイ	92.1	94.1	86.7	87.8	—	—
フィリピン	—	—	—	116.3	—	—

注: 中国は2014年11月度から会計処理を変更しております。また、本年11月度よりプリペイドカードの有効期限(1年)切れによる退職金を売上に計上しております。

(IR情報を含め当社の各種情報は、当社ホームページで随時お知らせしております。 <http://www.fantasy.co.jp>)

問い合わせ先 広報・IR室 井関 義徳 (電話 043-212-6188)

以上